

平成 24 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(清水地区)

開催日時	平成 24 年 9 月 18 日 (火) 午後 7 時から午後 9 時	天気	雨のちくもり
場所	清水ふれあいセンター		
町民参加者	男 28 人 女 4 人 (40 代以下 2 人、50 代 4 人、60 代以上 26 人)		
町出席者	町長、副町長、教育長、政策秘書課長、企画財政課長、総務防災課長、保険健康課長、事務局 2 人		

## 出席者から出された主な意見や提案

### 《テーマ：防災対策》

- 清水地区では学校が広域避難場所になっているが、清水地区の地形からすると複数の避難所が必要になると思う。
- 地域では高齢化が進み救急車の必要性は益々高くなるが、消防広域化のメリットは何か。
- 道の駅山北の運営に携わっているが、もし地震等の災害が発生した時、道の駅の客をどこに誘導すべきか。自主防災組織の中に組み入れることはどうか。
- 自主防災組織は自治会長が中心となると話しがあったが、2年で交代する自治会長に全てを任せるのは難しいのではないか。自主防災組織の考え方も自治会により違うと思えるため、町として各地域の自主防災に係わり町全体のレベルを引き上げるような指導が必要と考える。
- 畑地区は集落が点在している。もし災害が発生した場合、集落が孤立する危険性があるが、町はどのような対応をしてくれるのか。

### 《テーマ：その他》

- 建設残土を積んでいると思われるダンプカーが砂利採取跡地に入っているが行政は指導しているのか。
- AEDは清水ふれあいセンター、小中学校に配備されているが、休日は建物の鍵がかかっていて使用できない。対策はないか。
- 一昨年の台風9号で酒匂川が増水した。堰堤の嵩上げをするよう、町を通して県に要望しているが2年経った今でも実施されない。
- 民間介護機関が持っている情報と、民生委員が把握しているデータを関連させ、非常時に役

立つ要援護者の名簿等ができないか。

○小学校統廃合について清水地区では 15 日に話し合いが行われた。一部の保護者からは早く統廃合を進めてほしいという意見が出ているが、状況を聞きたい。

○山市場地区は鳥獣被害、特にサルとイノシシによる被害が多い。柵等の被害対策をするには 10 万～20 万円相当の費用が必要。

○自宅にあるトタン等を利用して鳥獣被害対策をした場合でも、町の補助対象とならないか。